



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成20年 **8** 月号
No.206

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

福田首相、内閣改造を断行 谷垣、伊吹氏が重要閣僚で入閣



内閣改造の8月1日、「総理と都道府県議長との懇談会」前に首相官邸で
(2列目右端が二ノ湯議員、4列目左端が家元京都府会議長)

二ノ湯総務大臣政務官は退任

あるのか、ないのかヤキモキさせた内閣改造。8月1日、福田首相はやっと断行しました。今回の改造で、実力政治家である伊吹文明、谷垣禎一両氏を党役員から重要閣僚に起用、幹事長に国民的人気のある麻生太郎氏を抜擢しました。厳しい政局を乗り切るため、十分に考え抜いた人事です。衆議院議員の任期満了まであと1年を残すだけで、常識的には福田首相の手で解散総選挙が行われるでしょう。高齢者医療制度への強い批判、国民基礎年金財源の確保、道路特定財源の一般財源化に伴う財源の使い道、原油高騰による生活必需品の値上がり等々、難しい問題が山積しています。しかも国民の中には漠然とした将来への不安感がただよっています。政府・自民党にとって選挙に向けていい材料はありません。福田首相は今度の内閣を「安心実現内閣」と名付けました。言葉通り、国民に安心を与える政策を実行してもらいたいものです。なお、今回の改造人事で二ノ湯議員は総務大臣政務官を退任しました。

恒心

★親が子供の健全な成長を願うのは当たり前のことです。しっかりと勉強して、立派な人になれと、口酸っぱく言うのも親の子に対する愛情表現の一つかもしれません。

子供のためなら酒もタバコも減らしてまで、教育費を捻出したいと思うのは親として当然のことだと思えます。★昨今、厳しい経済環境の中で、会社の倒産や、リストラによって、親の収入が途絶え、子供たちの学費が準備できず、前途洋々たる子供たちが、無念にも学校を辞めなければならぬケースが増えているようです。★幸いに、私の父親は公務員でしたので、低い収入ながら安定していました。高校時代、親の経済状態などお構いなしに、大学は東京にいくのだと勝手に決めていました。合格すれば親が何とかしてくれるだろうと、軽く考えていました。★最近、父親の履歴書が京都府庁に保存されていることがわかり、私が入りました。かなり詳細に記録されており、私知らなかった父親の人生の足跡がわかりました。★節目節目の給料の額も記されていました。★私は昭和39年に大学に入学しましたが、母親は毎月書留郵便で2万5千円送ってくれました。その当時の父親の給料が約5万円と履歴書に書いてあります。月給の半分を私のために仕送りしてもらっていたのです。両親には本当に世話になったと今頃しみじみ感謝しています。★母親は健在ですが、父親が亡くなってすでに20年が経ちました。親孝行したい時には親はなし。お盆前、東大谷墓地に眠る父親の墓前に、遅まきながら感謝の気持ちを伝えました。

政府税制調査会 抜本改正に向けて活発な審議

平成21年度の予算編成を控え、日本の税制の基本的事項を調査審議する政府税制調査会(内閣総理大臣の諮問機関)が、さる7月22日に開かれました。総務大臣政務官には発言の機会はありませんが、出席して委員の審議を聞く席は用意されています。平成21年度から国民基礎年金の国庫負担割合を現在の3分の1から2分の1に引き上げることが年金改正法に明記されています。そのためには約2兆3千億の財源が必要です。これが実現できなければ政府は国民から約束違反と大きな批判を受けることとなります。だが、福田総理は2〜3年は消費税を値上げしないと早々に表明したために、財源確保は頭の痛い問題です。そういう状況での会合だけに委員からは活発な意見が出されました。主な意見は次の通りです。○消費税の値上げを含めた税制の抜本的改正○たばこ税の値上げ○中小企業に活力を与えるための相続税のあり方○道路特定財源の一般財源化には自動車ユーザーの理解が必要○医療・年金・介護の各世代の公平な負担○環境問題と税のあり方○地方分権と地方消費税

○2011年度プライマリーバランス黒字化に向けた税制のあり方○持続可能な社会保障の税制○グローバル経済の視点からの税制のあり方

青少年育成推進本部

青少年は親や家族にとっても、また社会にとっても、可能性を秘めたかけがえのない存在です。しかし、青少年を取り巻く環境はなかなか厳しく複雑です。すべての青少年が健やかに成長して、それぞれの可能性を最大限に発揮できるように、国、地方自治体を含め、関係機関は支援をしなければなりません。そのため、政府は、青少年が周囲の人々から愛情と思いやりと責任を持って見守られ、可能性を発揮できる社会の実現に取り組んでいます。このたび、さ



福田総理と都道府県議長との懇談会

福田内閣総理大臣と47都道府県議長との懇談会が、8月1日、首相官邸で開かれ、地方行政の担当である二ノ湯総務大臣政務官も出席しました。懇談会に先立ち、官邸内の階段で首相を囲んで記念撮影がありました。懇談会では冒頭、福田総理が「特別な日にお集まりいただきご苦労様です」とお礼をのべ、「地方が元気にならなければ、日本が元気にならない。ぜひ、地方の活性化のために地方議会の皆様の協力をいただきたい」と要請致しました。総理は党役員人事と内閣改造で忙しいために、増田総務大臣に

らに一層前向きに取り組むために、現場で青少年育成に取り組んでいる人々から意見を聞き、新しい「青少年育成施策大綱」がまとまりました。これを基に、各府省が連携して青少年問題に取り組んでいくことになりました。7月25日、首相官邸で

青少年育成推進本部の会合が開かれ、二ノ湯総務大臣政務官は増田総務大臣の代理として出席しました。ほぼ全閣僚が出席していましたが、担当の各大臣は官僚の書いた作文を読み上げるだけでその間僅か10分ほど、これで本当に青少年の健全育成が実現出来るのか、少し心細い感じでした。

任せて早々に退席しました。増田大臣は「地方分権は掛け声だけでは実現しない。地方の頑張りを期待したい。定住自立圏構想を推進して、地方からの人口流出に歯止めをかけ、都市と地方の格差解消に努めたい」と挨拶しました。続いて各議長から発言が相次ぎましたが、主な意見は次の通りです。★地震予防★原油高騰と備蓄原油の放出★地上デジタルの早期整備★産科、小児科の医師確保★青少年雇用の確保★地方分権に伴う地方議員の身分の確立等です。

(二面に関連の写真掲載)

総務大臣と大都市市長との懇談

二ノ湯政務官、市議経験者として発言

7月30日、政令指定都市市長と総務大臣との懇談会がグランド・アーク半蔵門で開催されました。現在政令指定都市は17市となり、人口も約2710万人を数えます。政令市は都道府県とほぼ同等の能力と権限を持っています。しかも基礎的自治体として市民生活に必要なほとんどのサービスを提供しています。しかし大都市特有の行財政需要に見合った財源が不足しており、税財源の充実も長年政令市の懸案です。会合は指定都市市長会の会長である松原武久名古屋市長の挨拶で始まり、続いて増田総務大臣が「政令市の発展なくして、日本の発展はありえない。ぜひ皆様の力をお貸しいただきたい」と述べ、その後各市長が2分間づつ発言しました。各都市の多くの要望はほとんどが共通していました。発言要旨は次の通りです。★地方消費税の充実★道府県との二重行政の解消★地方分権の着実な実行★国策としての大都市制の確立★農地を含めた土地利用の権限の移譲★教職員給与費の道府県からの移管★小・中学校舎の耐震化促進★国道・一級河川管理の国からの移管などでしたが、二ノ湯政務官も京都市会議員の経験力を尽くしたいと発言しました。

私の青春時代 二ノ湯智

京都の人が大学を目指すとなれば、先ず京大です。私も出来れば京大に進学したいと思いましたが、数学が苦手と、とても京大に挑戦する資格がないと早々にあきらめました。昭和39年、一浪して慶応の法学部政治学科に入り

故なら自分の孫も入れなかった」とユーモア溢れる話をされたのを今でもはつきり記憶しています。晩年の小泉信三先生の姿もありました。1回生の後期からクラス委員に推され、1、2回生の時は、慶早戦の応援や青山学院、学習院の方と貸切バスで、長瀬や鎌倉方面に合ハイに出掛けました。懐かしい思い出です。3回生からはゼミが始まります。政治家を志望する学生は国際政治学者として高名

誠実な生き方を誓い、学友と集う

ました。東京オリピックが開かれ、東海道新幹線が開通した年です。当時は池田内閣の所得倍増政策で、日本は活気があり、夢と希望に満ち溢れていました。入学式は日吉の藤山記念講堂で行われました。小説家の石坂洋次郎氏が同窓生を代表して祝辞を述べられ、「君たちは実力で慶応に入学した。慶応には絶対に裏口入学はない。何



これぞ青春！伊香保温泉への卒業記念旅行で(右から2人目)

であった中村菊男先生のゼミを希望しました。面接試験があり、中村先生が「入るときは、政治家になりたいという学生が多いが、ほとんど銀行や商社に行ってしまう。自分のゼミからまだ県会議員も出ていない」と嘆かれています。その後、菊ゼミから都道府県会議員が出たかどうか知りませんが、国会議員は私だけだと思います。「日本人は国際政治を情緒的に捉えすぎる。国際政治には力の論理が働いて



三田の教室で卒業記念写真(左から4人目)

いる。もつと、現実的に冷静に国際政治を見なければならぬ」と中村先生は口すっぱく言っておられました。ゼミの勉強には熱心ではありませんでした。ゼミ仲間よりも同じクラスで気合合ったもの同士でグループを結成しました。世の中を誠実に生きなければならぬとグループの名前を「誠流会」と名付け、読書、旅行、喫茶店で議論したりして過ごしました。卒業後、皆と逢う機会がほとんどありませんでしたが、先日同窓会の案内を出すために電話をしました。話をするとすぐに遠慮もなく、気楽に近況を語り合いました。現役の社長で頑張っている者、年金暮らしの人、定年後、子会社に行っている人、様々です。ついこの間、卒業したと思っていたのに、早くも還暦過ぎの年になりました。少年老い易く、学成り難しとはよく言ったものです。

総務副大臣・大臣政務官交代式

さる8月7日、総務省において、副大臣・大臣政務官の交代式が行われました。二ノ湯議員は「地方議員の経験があり、多少総務省のことを、知っているつもりでしたが、本当は何もわかっていませんでした。今後、勉強を重ね、地方の発展に力を尽くします。」と挨拶しました。総務省職員を代表して、瀧野事務次官が「二ノ湯政務官は、主として地方制度、消防などを担当されました。この間、夕張市を訪問され、市長をはじめ行政関係者との意見交換を行い、夕張市の着実な財政再建に向けてご尽力いただきました。消防関係では、消防団の活性化や地域での防災に関する取組の推進、地域防災力の充実・強化にご尽力いただきました。急な依頼に快くかつ真摯に対応していただき、地方自治の現場での経験に基づく的確なアドバイスをいただき、また、職員に対し、温かいご配慮や激励をいただきました。」と感謝の言葉を述べました。



後任の中村博彦政務官(参議院議員)と事務引継ぎをする二ノ湯議員

自民党歴史的遺産の保護チーム 京都の文化財修理現場を視察



国民的財産である建造物を大地震や火災から守り、維持保存することは国家の大きな責任であり、又義務でもありません。自民党の国家戦略本部「歴史的遺産の保護プロジェクト・チーム」では、地域で守り伝えられてきた歴史的遺産の保護をさらに促進するために、歴史都市「京都・奈良」の文化財を視察しました。参加した議員は、衆議院から杉浦正健(愛知12区)、小島敏男(埼玉12区)、松浪健四郎(比例近畿)、奥野信亮(奈良3区)の4名、地元京都からは二ノ湯智、西田昌司の参議院議員が参加しました。京都での視察場所は清水寺、知恩院、西本願寺の3ヶ所。観光客500万人を数える清水寺は平成20年度より11年計画で、本堂ほか8棟の半解体修理・屋根吹き替

え・部分修理に着手しています。知恩院は平成17年度から14年計画で本堂・集会堂の保存修理事業を進めています。西本願寺では平成10年度より太子堂の半解体修理事業に取り組み、今年度中に竣工の予定で、さらに火災から文化財を守るために防災施設の整備にも平成18年度から3年計画で着手しています。厳しい暑さでしたが、それぞれの寺院で関係者から貴重な苦勞話を聞き、実りある視察でした。

身辺雑記

一、竹島問題に韓国はいささか過剰反応。一方、日本の国民は全くの無関心。国家とか領土とかにこれほど関心のないのも困ったものだ。本場に日本国民は骨のない国民になってしまった。

一、ガソリンの値上げもマイナスばかりではない。お盆休み、各地の高速道路では、車の数が減って早く走れるようになった。不要不急のときは、出来るだけ車を控えるべきだ。

一、中国製ギョウザの中毒事件は、どうやら中国国内で「殺虫剤メタミドホス」が混入された公算が高まってきた。それにしても日本で問題を起こしたギョウザが中国で流通するとはどういうことだ。一、世界注目の北京オリンピック開会式を見た。どのような演出が行われるのか、興味津々であったが、人海戦術を駆

使してのスケールの大きさと奇抜さに驚いた。この祭典に賭ける中国の強い意気込みが感じられた。

一、柔道が面白くなくなった。逃げまくって、有効点を稼ぐだけに終始している。その中で、女子の谷本歩実選手は決勝まで、4試合とも一本勝ち、日本柔道の醍醐味を見せてくれた。

一、7月に、一年半ぶりに市民病院で半日人間ドックに入った。政治家の仕事は大変不規則で、食べたり、飲んだりする機会が多い。糖尿病だけは気をつけなければならぬ。今年も大丈夫だった。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました

<http://www.ninoyusatoshi.com>

第183回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：8月31日(日) (小雨決行)
- ・集合時刻：午前9時(時間厳守)
- ・集合場所：四条烏丸 京都産業会館前
- ・コース：室町通→六角堂→東洞院通→錦通→錦天神→誓願寺→寺町通→梨木神社→京都御所内→閑院宮邸前解散
- ・暑さ厳しい時季のため、一部アーケードのあるところを取り入れています。町中の社寺にも立ち寄りませ。是非ご参加ください。

(当日) ☎090-1956-7460

歩くことは
健康の基本

第182回 みんなで歩こう湯歩会(参加者49名)



山科区毘沙門堂にて